

# 事業評価調書

## ◎基本情報

年度	令和6年度	会計コード	10	一般会計	事業コード	70294	
事業名	動物福祉向上推進費						
評価担当課	所属	環)円山動物園 保全・教育推進			電話番号	011-621-1426	
施策名	生物多様性が広く理解され、地域本来の生態系が維持された中で自						
アクションプラン	● 対象 ○ 対象外						
事業の性質	○ 経常経費 ● 臨時的経費			○ 内部管理 ○ 法定経費 ○ 指定管理費			
	○ 直営 ● 一部委託 ○ 全部委託 ○ 補助・助成 ○ その他						
事業内容	事業の背景(現在の状況、社会的課題)	国内では、世界情勢を鑑み動物の福祉に配慮した生態的展示や行動展示、混合展示などの展示方法が取り入れられてきている。また、JAZA(日本動物園水族館協会)加盟園館のうち、WAZA(世界動物園水族館協会)に加盟している10園館に対しては2023年までにJAZAによる動物福祉評価を実施し、現在は全加盟園館に対し順次、動物福祉評価を実施している。円山動物園では良好な動物福祉を確保するため、札幌市動物園条例に基づき動物福祉規程を令和5年3月に策定した。					
	事業内容(何を実施し)	各獣舎では、日々、動物の状態をふまえ、飼育環境や飼育方法を調整するとともに、様々なエンリッチメントの取り組みを行うことで、動物福祉の向上を図っている。また、動物福祉の維持、向上のため、年1回動物福祉評価(自己評価、外部評価)を実施し、その結果をふまえ、日常的な管理では対応できない獣舎改修、動物移送などを動物園応援基金の活用等により行っている。令和6年度は、令和5年度の飼育状況について動物福祉評価を実施した。また、エゾユキウサギ獣舎の拡張工事および繁殖のためユキヒョウ1頭の秋田市大森山動物園からの輸送を行った。 さらに、獣医療については、北海道大学獣医学部との連携協定により、MRI、CTIによる飼育動物の精密検査協力、ゾウの感染症モニタリング検査に関する共同研究のほか、大学病院での研修受け入れなどにより、獣医師の診療技術の向上を図っている。加えて、動物園応援基金の活用等により老朽化した各種設備の更新を進めており、令和6年度はICU(集中治療室)の更新を行った。					
	どのような状態にしたい(状態を維持したい)	円山動物園が飼育する動物に対し、より良好な動物福祉を確保し、向上させていく。					
	他都市の状況	JAZAによる動物福祉評価を実施するとともに、JAZAアニマルウェルフェア方針策定ガイドラインに基づき、動物福祉の確保に向けた規程やマニュアルの策定に着手している状況である。					
	市民参加の実施	<input type="checkbox"/> 企画 <input type="checkbox"/> 実施 <input checked="" type="checkbox"/> 評価 <input type="checkbox"/> 対象外					
令和5年度決算額	0 千円	うち特定財源	0 千円	正規職員業務量	0 人工		
令和6年度予算額	15,000 千円	うち特定財源	15,000 千円	正規職員業務量	0 人工		
令和6年度決算額	14,183 千円	うち特定財源	14,183 千円	正規職員業務量	0 人工		
令和7年度予算額	19,000 千円	うち特定財源	19,000 千円	正規職員業務量	0 人工		
指標	アウトプット活動指標1	動物福祉規程に基づく外部評価における指摘事項への着手・という活動、業務を行うことで					
		令和5年度実績	令和6年度予定	令和6年度実績	令和7年度予定	令和8年度予定	令和9年度予定
		50%	70%	100%	70%	70%	70%
	アウトカム成果指標1	という状態にしたい、成果を挙げたい					
		令和5年度実績	令和6年度予定	令和6年度実績	令和7年度予定	令和8年度予定	令和9年度予定
	指標1の評価、未達理由、今後の考え方	自己評価および外部評価の実施により、動物福祉向上の機運が高まり、改善に向けた取り組みへの着手が進んでいる。					
	アウトプット活動指標2	という活動、業務を行うことで					
令和5年度実績		令和6年度予定	令和6年度実績	令和7年度予定	令和8年度予定	令和9年度予定	
アウトカム成果指標2	という状態にしたい、成果を挙げたい						
	令和5年度実績	令和6年度予定	令和6年度実績	令和7年度予定	令和8年度予定	令和9年度予定	
指標2の評価、未達理由、今後の考え方							
今年度の見直し内容	なし						
来年度以降の方向性	各動物種に対し公平で同一水準の動物福祉評価となるよう実施方法を検討していくとともに、獣舎改修や獣医療機器の整備を進めていく。						